

令和8年7月22日

宗像市議会

議長 岡本 陽子 様

予算第1特別委員会

委員長 川内 亮

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第42号議案 令和8年度宗像市一般会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9億2,841万8千円を増額し、補正後の総額を459億4,887万3千円とする。また、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 予算の概要

- (1) 令和8年度当初予算は市長選に伴い骨格予算として編成したため、今回はこれに対する肉づけ予算として、政策的な予算を計上する。
- (2) 命と暮らしの日常を守る取組として、将来にわたり安全・安心に住み続けられるまちづくりを推進するため、物価高騰対策に係る予算に約6,200万円を計上する。
- (3) 人と環境を育む取組として、まちづくりは人づくりの理念のもと、教育、子育て、就労支援などの取組をまちの恵みや活性化へとつなげるため、教育振興や定住促進にかかる予算に約4,600万円を計上する。
- (4) 暮らしと都市機能の再生に係る取組として、あらゆる世代が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めるため、公共交通や都市再生等に係る予算に約6億8,800万円を計上する。
- (5) その他の取組として、新たな行政課題等に迅速に対応するための予算に約1億3,200万円を計上する。

2 歳入の主なもの

- (1) 歳入予算のほとんどが、今回の補正予算において実施する事業の財源として収入が見込まれる特定財源である。
- (2) 特定財源以外の歳入として、財政調整基金を2億7,940万2千円繰り入れる。

3 歳出の主なもの

- (1) 公共交通整備事業費の増額（1,307万7千円）及びデマンド交通事業費の増額（3,480万7千円）
公共交通の利便性向上と環境整備を図るため、宗像版公共ライドシェアの予約受付体制の拡充やふれあいバス停留所の整備等を実施する。また、本年10月の運行エリア拡大に伴い、案内パンフレット等の制作を行う。NORANシステムの改修費用は、国庫補助及び事業者負担で対応する。
- (2) 行財政改革推進費の増額（210万円）
本年10月に開始する窓口受付時間短縮に備え、市民に周知を行う。
- (3) 定住化推進事業費の増額（200万円）
首都圏向けのPRや近郊者向けに暮らし体験ツアーを企業との連携により行い、定住促進を

図る。

- (4) 生活保護事務費の増額（2,008万6千円）及び生活保護扶助費の増額（1億204万1千円）

平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、生活保護費の追加給付を行う。

- (5) 塵芥処理事業費の増額（1,953万6千円）

ナフサの供給不足等により、製造コストが増加している市指定ごみ袋の安定供給と価格維持のため、契約単価の見直しを行う。財源として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当する。

- (6) 農業振興事業費の増額（2,468万円）及び水産業振興事業費の増額（1,835万円）

物価高騰に係る支援策として、当初予算に計上している農業者・水産業者に対する燃油高騰対策支援補助金の増額を行うほか、農業事業者への支援策として貸出用ラジコン草刈り機の購入を行う。貸出用ラジコン草刈り機を2台購入し、利用に向けた周知や申請受付、機器の操作及び保守点検を外部に委託する。

- (7) 道路維持管理費の増額（8,960万円）、道路新設改良事業費の増額（2億450万円）及び県道改良事業費の計上（9,500万円）

植栽管理の包括委託、市道王丸・久原線の整備、県が行う街路関係事業（都市計画道路宗像福岡線）に要する経費の負担金など、都市基盤整備を推進する。

- (8) 日の里地区都市再生プロジェクト事業費の計上（1億1,081万円）

日の里一丁目団地103・104号棟跡地を活用した複合施設への日の里地区コミュニティ・センター移設に係る費用を計上する。

- (9) 赤間駅周辺都市構造再編集支援事業費の計上（7,062万円）及び都市公園整備事業費の計上（3,000万円）

市の中心拠点である赤間駅及び駅周辺の再整備のため、赤間駅の下りエスカレーター設置工事や民間事業者による北口公園再整備への補助を行う。

- (10) 教育相談事業費の増額（563万7千円）

教育現場における社会変化に対応した対策の拡充のため、日本語サポーターの増員を行う。また、令和6年度と比較して令和7年度の不登校児童生徒数が大きく増加したことから、子どもと学級全体の状態を把握し、具体的な施策を講じるため、外部委託による学級経営診断を実施する。

- (11) 教育改革推進事業費の増額（207万8千円）及び中学校施設改修事業費の増額（3,600万円）

部活動の地域展開に係る情報発信を強化する。また、認定地域クラブの活動に際し、生徒の安全対策としてグラウンドや体育館から駐車場までの屋外照明設置や道具を保管する倉庫等の環境整備を行う。

4 債務負担行為

次年度以降の予算の担保が必要となる日の里地区複合施設整備事業費及び赤間駅エスカレーター整備事業費の2件を追加する。

5 地方債

今回の補正予算において実施する事業の財源として地方債の借入れを行うため3件を追加し、限度額を2件変更する。

【意見】

（賛成意見）

・燃油の価格高騰に対する農業、水産業への支援を評価する。ナフサ等素材の価格も高騰しているため、今後も農業者、漁業者への生活支援を検討してほしい。ラジコン草刈り機については、広く活用の推進を期待する。認定地域クラブの環境整備においては、照明設備の設置を評価する。ただし、活動場所については、適切な場所であるのかを今一度見直してほしい。公共交通については、宗像版公共ライドシェア、ふれあいバス「BRT玄海線」、コミュニティバスの利用に市

民が慣れてきたと感じる。今後は、停留所等の施設整備を充実させ、さらに市民の利便性向上を図ってほしい。

- ・公共交通においては、バス停を整備することは評価するが、低い位置に時刻表があると不便であるため、掲示位置は考慮してほしい。また、赤間駅に下りのエスカレーターができることは、足腰に不安のある方などへの配慮として評価するが、昨今の夏冬の気温を考慮し、待合室の環境整備についても検討してほしい。指定ごみ袋の価格維持は大きく評価する。しかし、ごみ袋の値上げの抑制にはごみの減量が必要と考えるため、市民への啓発、ダンボールコンポストの利用促進などに力を入れてほしい。そして、ナフサ不足による中小事業者の経営圧迫に対して、支援の検討を要望する。全体的に業務委託が多いことから職員不足と捉える。職員の増加を検討してほしい。

- ・会派でも定期的に市長に対して要望を上げており、今回多くの要望が補正予算に反映された。中でも、物価高騰に対する農業者・漁業者への燃油高騰に対する補助、ナフサ不足に対する指定ごみ袋の価格維持、公共ライドシェアの予約受付の体制拡充についての速やかな対応を高く評価する。要望として、草刈りについては農業従事者に対し草刈り機の貸出しを進めているが、自治会によっては法面や道路側面の管理が行き届いていないため、今後は対象の拡充を図ってほしい。

- ・日本語サポーターの増員を大きく評価する。日本語が分からない子どもが増えており、子どもたちが学校生活や日常生活を楽しく過ごすために、今後も日本語指導に力を入れてほしい。

- ・あらゆるスポーツや文化活動において、市が予算をつけ、ハード面を早期に整えることは、子どもたちの安全を守るだけでなく、指導者が安心して質の高い指導を行える環境づくりにつながると評価する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。